

研究課題：小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の術後再発例の後方視的検討

1. 研究の目的

当院では積極的に腹腔鏡による手術を行っており、全国でも有数の手術件数を行っております。

当院で主に鼠径ヘルニア修復術として行っている腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(SILPEC,LPEC)は全国的に普及しておりますが、残念ながら手術後に再発してしまうことがあり(0.5-1%)、未だにその原因ははっきりとわかっていません。

今回私たちは小児における腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術での再発を減らすために、過去の症例を遡って検討し、今後の再発の予防につなげるための研究を企画しました。

2. 研究の方法

当院で過去(2000年～2018年)に鼠径ヘルニア修復術を施行された方々のうち、初回腹腔鏡手術を受け、2回以上当院で鼠径ヘルニア手術を施行された患者様のデータを使用させていただきます。

3. 研究期間

研究承認日～2020年3月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

上記に該当する患者様の手術画像・検査データ等を参照し、データとして解析させていただきます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究成果が出ましたら、学術集会や論文雑誌等でご報告させていただきます。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年4月30日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）